

6. 緑豊かな環境を自覚し、保護し、住みやすいまちづくりに貢献する。

まちの歴史—おじいちゃんおばあちゃんの育てたまち—をまとめる会
(愛知県名古屋市)

1. 活動の背景

ここに1985年、名古屋市が行った、住民意向調査を踏まえた「千種台地区住環境整備調査報告書」があります。

これには、先人の35年にわたる努力の結果、千種台地区は豊かな緑の住宅地、名古屋第一級の住宅地に発展したとした上、「(建替え事業に当たっては)35年の長期にわたって、ゆっくりとつくり上げられてきた千種台地区の良好な住宅地環境を維持し、育成してゆくことに貢献でき得る計画にするための留意が、まず必要となるであろう」と指摘、さらに、千種台地区が第一種住居専用地域、第一種高度地区に指定されていることにも留意すべきだとしています。また、「風紀、教育環境」「近所づきあい」についても、調査で高い評価がなされていることを踏まえ、良好なコミュニティが形成されていると評価している。そして、「このコミュニティが、一朝一夕に形成されたものではなく、35年の時間の熟成によって完成したことをもう一度銘記すべきであろう」とした上、これを「コミュニティの森」と呼んで森林の生態系にたとえ、その微妙なバランスを踏まえ、その許容力、復原力を十分に計算に入れた整備でなければならないと結論づけている。

私たち住民が、この街の環境からコミュニティまで含めて住みよいまちだと思い守りたいと思うとき、それは先人の努力に敬意を払わずにいられないものを感じ、だからこその宝をムダにしないためにどうするか、私たちの責任でもあると思うのです。



緑豊かな千種台団地



建替えられた北希望荘

これに対して、同じ名古屋市が出してきた基本計画は低層住宅地域を14階建て5棟を含む中高層住宅地域に、地形を含めてまるごと地域をつくり変えるものとなっています。

なぜ、住民意向調査の結果やそれを踏まえた報告書と、基本計画がこんなにもかけはなれたものになったのか、住民の声に対しては常に問答無用の名古屋市です。



写真コンクール会場で持ちよりの昼食会

II. 活動の目的

住宅の道々に咲く桜の美しさは、このまちの誇りでもある。モクレン、ムクゲ、ツバキ、サツキ、ツツジ、ミカン、各庭々に咲いた花と新緑、千種台の春は本当に美しい。秋の紅葉と落ち葉のジュータンも掃除の大変さを除くと美しい。大きな通りに面した家々の前の道路は朝早く、掃き清められていて心がなごむ。このたび、一年間にわたって住民の声を記録すべく、おまつり、写真コンクール、学習会、家庭訪問、アンケート等を行ってきました。それは、住民の声を様々の角度から聞

くことによって、この宝物を住民自ら確認し、名古屋市に知らしめたい。そして今からでも計画に住民の住み手のプロとしての声を反映させてほしい。そのことに気付いてもらいたい。そう願ってこの活動に取り組みました。

III. 活動の実施経過

- (1) 93年5月 千種台春まつりを共催で行い、写真図面の展示と意見を書いてもらうことを行いました。主に子供の意見を聞くことにしました。
- (2) 6月 施設づくりをテーマに、名古屋市の担当者と住民が懇談会を持った。これについては、月1回のペースで学習会を開いてきました。
- (3) 10月 北希望荘の見学会とアンケート調査に入る。
- (4) 11月 写真コンクール開催
- (5) 12月 はざま荘へ家庭訪問をし、聞き取りとアンケート調査を行った。聞き取りは、94年2月末まで続けられた。
- (6) 94年3月 はざま荘と田代荘を歩く。田代荘については住居内を見せていただいた。



写真コンクールの表彰式